



稲村 雅司 議員

### 水難事故防止対策について

質 水難事故防止の取り組みを伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

注意看板の設置等を進め、石川地区恩納水難事故防止推進協議会にて事故防止の啓蒙活動や危険箇所調査活動等を実施している。

答 商工観光課長（親泊 誠）

海浜公園では、事故防止の看板や遊泳区域指定及び危険生物侵入防止ネットの設置、監視員を配置。真栄田岬周辺活性化施設では、事故防止看板を設置、こちらも荒天時の入水制限等、注意喚起を図っている。観光マナー啓発パンフレット等の作成を検討、その中で事故防止の啓発も図ろうと考えている。

質 学校での水難事故防止の取り組みを伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

水泳指導を中心に教科書等の内容を用いて行っている。2校において消防署と連携し、着衣水泳を実施、一部の学校でシュノーケリング体験を行い安全な遊泳の方法やライフジャケットの必要性について学習をしている。

質 ライフジャケットを行政側で揃え地域団体などにレンタルし事故を未然に防ぐ取り組みを行う自治体が増えているが見解を伺う。

答 商工観光課長（親泊 誠）

確保しているライフジャケットがある。子ども会や団体が借りたいと申し出があった場合、貸出し可能と考える。

提 着用体験や実習に生かせる点がある。村内の水難事故予防に繋がるのをお願いします。

### 真栄田岬周辺活性化施設の利用について

質 施設の指示に従わない者に対して入場を拒むことが可能か伺う。

答 商工観光課長（親泊 誠）

設置及び管理に関する条例において管理上必要な指示に従わない者は入場を拒みまたは退場を命ずることができるとあるので可能です。

質 事業者登録制度の見解を伺う。

答 商工観光課長（親泊 誠）

事業者利用登録は、課題解決に向けた対策の一つとして挙げられている。実証実験を踏まえた協議に村として取り組んでいきたいと考えている。

提 行政主導でルールづくり、システムづくりを関係機関と協議を深めて行っていただきたい。

### 防災備蓄倉庫について

質 備品類は村民に共有されているか伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

詳しくは周知、共有されていない状況。今後は村広報誌、ホームページ等も活用し、設置場所、備蓄品リスト周知に取り組み、倉庫、備蓄品も含め地域と一体となり防災訓練で活用できたらと考える。

質 備品や機材の使用方法的確認は取られているか伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

防災担当を含め一部職員で確認している。12月3日、役場職員全員を対象とし防災訓練を赤間多目的ドームで開催。継続しながら資機材の使用方も含め災害に備える対応をしていきたい。

質 学校や各施設の防災教育訓練に関して見解を伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

各地域の自主防災組織や地域住民を含めた訓練が今後非常に重要であると考えている。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

地震、津波、土砂、高潮の全てに対応できる学校は山田小学校と、うんな中学校。安富祖、恩納、仲泊小学校は、土砂のみの避難場所。防災倉庫併設は山田小学校のみ。現段階で防災倉庫の装備品等を活用し防災教育を行っている学校は3校。山田小学校は、11月24日に近隣行政区と協力し、合同で地震、津波を想定した訓練を実施。住民及び児童の避難に加え、緊急避難場所の設置、発電機の稼働、防災食の試食など実践的な訓練を行った。防災士を招き、専門的知見での助言を受け課題の明確化を図った。

提 恩納村の各地で地域一体型の実践的な避難訓練が行われていくことを願う。



山田小学校避難訓練の様子



大城 堅三 議員

### 8月の台風6号について

質 台風6号について災害警戒本部による災害被害対策、対応等の検証で、どのような問題点、また対応策等が上がったか。

答 総務課長（宮平 寛）

長期間にわたる暴風、停電、それに伴う断水、シャワーに入れない問題がありました。ふれあい体験学習センターで対応できる体制を整えていましたが、停電で対応できない状況で発電機を設置、温水シャワーが使える対応をしました。あと沖縄電力と情報共有し今後の対策も話し合ったところです。職員の初動行動マニュアル検証で全職員で防災訓練も実施したところです。

質 被害状況等報告書で災害救助法の適用の中で取られた措置、避難所の設置を伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

災害救助法の適用は、長引く停電で生活に支障を来たしているところで適用を受け、村も4か所避難所を設置した。経費は国の補助という内容ですが、村として経費がかかっていますので、国の支援は今回はありませんでした。

質 ホテルと協定を結んで予算措置も応分にホテル側の負担もかからない形の、検討や検証の中で話は出ませんでしたか。

答 総務課長（宮平 寛）

1か所、ホテルと避難所の協定書を結んでいます。今回シャワーが利用できないとの問い合わせが結構あり、今後の緊急時のシャワーの活用等、ホテルのGM会にも提案しているところです。

質 長期化した停電の要因、沖縄電力との確認作業は。

答 総務課長（宮平 寛）

まず、災害時の相互連携に関する協定の締結に向け文言とか、内容は全て調整を終えて、後は日程調整し協定を締結していきます。今回の長期停電の、一番の原因は強風に伴う高圧バインド切れで電線が接触し停電を起している。今後、相互連携の上で未然防止の対策ができればと思います。

質 樹木の事前伐採作業、定期的に剪定を、予算的な部分もあると思うが、村長の思いは。

答 村長（長浜 善巳）

今回は一括交付金で、村の北と南に、分けて剪定作業をしていきます。その後も足りない部分は各地域の区長さんの要望、意見も聞きながら、村の予算で手立てしていきたい。

質 国、県の方針による電線地中化、村の計画を伺う。

答 建設課長（屋良 朝也）

令和6年度中に無電柱化推進計画を策定し、計画を7年度に申請し8年度から第9次整備計画が始まります。まず中心になるのは避難場所、公共施設へのアクセス道が先になるものだと考えています。

質 前兼久地区の（電線地中化）総額予算は。

答 建設課長（屋良 朝也）

前兼久地区の事業費、国道事務所が使っているボックスの作り方で1km当たり20億、国道事務所を確認はできていないが、標準断面図を見ると約6kmあり、100億円を超していることになりました。

### 水産業の振興について

質 瀬良垣漁港の施設整備、維持管理について令和3年に伺った件の進捗と、協議会等が持たれたか伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

要望として浮桟橋と漁港の用地舗装がありました。村も必要性は十分認識しています。漁港整備は農林水産省の補助事業を活用していますが、整備は現状において組合員数、漁船数、水揚げ等が少ないことで事業採択は厳しい状況であります。今後関係機関と調整を行うて、事業活用できないか検討していきます。

質 漁港内の防犯灯の設置、航路浚渫、誘導灯設置の検討を。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

まず現場のほうも確認し、漁協、地元組合員とも確認して整備を検討していきたい。

